2023年5月14日　朝 礼 拝 順 序 (午前10時半)　(№20)

司式　杉山昌樹牧師

前　奏　奏楽　五十嵐美代枝姉

開 会 招 詞　詩編100編1－5節

＊ 賛　美　歌　5:1（ソングシート）

1. めぐみゆたけき主を　ほめたたえまつれ、そのみいつくしみは　ときわにたえせず。
救われしみたみよ、おごそかにうたえ、「憐れみとまことはかわることなし」と。アーメン＊　開会 祈 祷

罪 の 告 白　祈祷書2　罪の告白①

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をぬぐい去ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とされ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。わたしを洗ってください。雪よりも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてください。この口は、あなたの賛美を歌います。　主イエス・キリストの御名によって。アーメン。　(詩編51)

罪の赦しの宣言

十　戒　祈祷書4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。　(出エジプト20、申命記5)

＊ 賛　美　歌　５：２（ソングシート）

２. なやみせまるときも　み名をよばわれば、主はこたえたまいて、この身をばすくい、
いとひろきところに　いこわしめたもう。主ともにましませばわれにおそれなし。アーメン

公 同 の 祈 祷　５　使徒信条

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。われは、その独り子、われらの主イエス・キリストを信ず。主は、聖霊によりて宿り、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみ

を受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。

われは聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒のまじわり、罪の赦し、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。　アーメン。

献　　金　（黒）教会活動・（赤）聖恵会　70

今献ぐるそなえものを　主よ　清めて受けたまえ　アーメン

子ども礼拝

聖　書　朗　読　　レビ記26章42－45節（旧約聖書207頁）

ヨハネ14章15－21節（新約聖書197頁）

説　教・祈　祷　「あなたと共にいる」杉山昌樹牧師

＊賛　美　歌　８２:１，３（ソングシート・ピアノ）

1. 主イェスの深い愛にふれて　私にも愛が生まれ　主イェスを信じた時から　私に歌が生まれた。　（おりかえし）いつまでも歌いつづけよう　主の愛の広さ深さを 十字架に命を捨てた　その愛の大きさを

3. 主イェスに全てをゆだねて　心に平和がやどり　主イェスとともに歩く身に　喜びの歌が絶えない（おりかえし）

＊主　の　祈　り　　祈祷書1

天にます我らの父よ
願わくは御名をあがめさせたまえ
御国を来たらせたまえ　御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり　アーメン。

＊頌　　栄　６４

天つちこぞりて かしこみたたえよ、み恵みあふるる　父、み子、み霊を。アーメン

＊祝　　祷

後　　奏　（黙祷）

報　　告 司会古澤純一長老・受付門脇陽子長老（次週：雨宮信・古澤純一長老）

礼拝当番/献金当番　横山真実、森川祐子/横山芽愛、横山遥音（次週）桑原健次、千坂智津子/堀口敦也、堀口智彦

本日　受付　１階：森永美保執事　２階：佐藤紀子執事 ／ZOOMホスト・録音：雨宮信

次週　受付　１階：藤井牧子執事　２階：星野房子執事 ／ZOOMホスト・録音：雨宮信

ヨハネ14：15－21　「あなたと共にいる」

イエスを愛する

今日の聖書のテーマを一つ上げるとすれば、それは「愛」です。イエス様は、冒頭で、「私を愛しているなら」と言われます。さらに、最後の所でも「私を愛する者」と言われます。それは、イエス様との「愛」の関係です。眼には見えなくても、感じることのできる愛です。それが、教会において具体的な形をとっていくのです。先週ラジオの収録に行きました。なみ子さんのほほえみトークに出していただくことになりました。放送は7月ですから、また聞いていただければと思いますが、その時に取り上げたみ言葉の一つにエフェソ3章の言葉があります。それは「聖なる民に属する者、神の家族」（エフェソ3：19）です。特に神の家族という言葉について、このところ意識しています。教会は神の家族です。そのように言えるのは、イエス様が私たちを愛してくださる、その「愛」が私たちに届くからです。このような「愛」が確かに私たちの間にいきわたっていくのです。それがどのようにして起きるのかイエス様ご自身がこのところで語り掛けてくださいます。

私のうちに

そのような愛の関係そのものをズバリと示す言葉があります。それが、20節にあります言葉です。「かの日には」というのは、イエス様が天にあって、私たちに聖霊を与えてくださる日ですけれども、その日には「私が父の内にあり、あなたがたが私の内におり、私もあなた方のうちにいることが、あなたにわかる」。イエス様が父なる神さまの内にいる、という形で神様とつながっていて、わたしたちがイエス様の内にいて、また私たちの内にイエス様がいる、というように、イエス様とわたしたちとが、お互いがお互いの中にいるので、私たちも神様の中にいる、というちょっと複雑ですけれども、とてもうれしい状態が、この地上で実現しているのが、私たちにわかるというのです。あるいは、分からされる、のかもしれません。今日は、その道筋を聖書からたどってみたいのです。

イエスの掟

それで改めて、この所の枠組みについてです。ここでは間違いなく「愛」について語ります15節と21節が一つのセットです。そこを読んでみますと、ほぼ同じ言葉が、逆の順番で語られていることに気付きます。15節では、「私を愛しているならば、私の掟を守る」となっています。一方、21節では「わたしの掟を受けいれ、それを守る人は、私を愛する者である」となっています。イエス様を愛する人が、掟を守るのか、掟を守るものは、イエス様を愛しているのか、どちらが先か、と言いたくなりますけれども、実は、これは一つのことを言っているのです。どちらも、わたしたちがイエス様を愛する、それができる、あるいは、できるようにされる、ということが言われているのです。それからもう一つ大切なのは、ここではイエス様を愛することと、掟とが組み合わされています。そして、この場合の掟とは、間違いなく、13章34節にあります、「あなた方に新しい掟を与える。あなた方は互いに愛し合いなさい」という言葉を指しているはずです。そうしますと、イエス様を愛することと、わたしたちが具体的な隣人を愛することとが、ここでくっついているのです。先ほど神の家族と言いましたけれども、それが出来上がるためには、イエス様との関係、そして、仲間同士の関係、今このところで、ほかでもない、こうして顔を合わせている同士、あるいは今日来ていなくても、信仰の仲間同士、互いに愛しあうことと、イエス様を愛することは、別々ではなく、つながっているのです。わたしはイエス様は愛するけれども、この人のことは知らない、とは言えませんし、わたしはこの人は愛するけれどイエス様のことはわからない、とも言えないのです。

聖霊の働き

そのようにして、わたしたちがイエス様の掟としての愛に生きる時、どうしても必要なことがあります。それは、聖霊なる神さまの助けです。16節では、別の弁護者、ということが言われています。これはイエス様の代わりになる弁護者、という意味です。それに続いて、17節では、「この方は、真理の霊である」とありますから、ああ、聖霊なる神さまのことだと分かるのですが、イエス様の掟を考える場合には、この聖霊の存在がカギになります。なぜなら、この所にありますように、私たちがキリスト

者として生きるということは、この霊と別々には考えられないからです。なぜなら、この聖霊こそが、わたしたちのありかたを特徴づけるからです。キリスト者らしさ、というものがあるとすれば、その源は、この聖霊です。それで例えば、17節では、そもそも、この霊は、世には知られていないし、受け取られていない、とあります。一方で、私たちはこの霊を知っているし、それどころか、この霊が、あなた方と共にいる、また、あなた方の中にいる、とあります。私たちは、普段あまりこのことを意識していないのですけれども、この聖霊が私たちに与えられていることによって私たちが以前には知らなかったことがわかるというのです。

見るということ

その事が19節で言われています。「あなた方は私を見る」とあるところです。それは、見える、見えない、の話です。「世は私を見なくなくる」ともあります。イエス様は普通の仕方では見えなくなるというのです。実際今私たちはこの肉の目をもってはイエス様が見えないのです。それで、以前にもお話ししましたが、イエス様のご復活の時の弟子たちの様子を思い出したいのです。例えばヨハネ福音書20章ではマグダラのマリアが、目の前にいるイエス様を見つけ出せませんでした。あるいは、ルカによる福音書24章ではエマオに向かう二人の弟子の横を、イエス様が一緒に歩いてくださっているのに彼らはそれに気づきませんでした。このように、わたしたちは、この地上の目をもっては、私たちの五感によってはイエス様を見つけられないのです。しかし、そうであるにもかかわらず、「あなた方は私を見る」というのです。私たちは、聖霊に助けられてイエス様を日々見つけ出すのです。

基盤はどこに？

そして、このことが、あの「新しい掟」について考えます場合でも、決定的な役割を果たします。そこで、13章34節の掟の言葉をもう一度読んでみます。「あなた方に新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。私があなた方を愛したように、あなた方も互いに愛し合いなさい」このようになっていました。その場合に、出発点は、まず、イエス様だということが言われています。「私があなた方を愛したように」とある通りです。お手本があるのです。この場合に、イエス様が見えていなければ、それに倣うこともできないのです。その点では、あなた方は、互いに愛し合いなさい、というのは、それぞれ、自分のやり方で、ではないのです。さらに言いますと、この私自身の中には、本当に人のためになる、完全に純粋な愛は、ないかもしれないのです。そうであるにもかかわらず、わたしたちが、イエス様の、「私があなた方を愛したように」人を愛せる可能性があるとすれば、あの聖霊なる神さま、もう一人の弁護者に助けられる意外にないのです。

弁護者の存在

それで弁護者についてもう少し確かめます。ヨハネの手紙には、こんな言葉があります。「わたしの子たちよ、これらのことを書くのは、あなたがたが罪を犯さないようになるためです。たとえ罪を犯しても、御父のもとに弁護者、正しい方、イエス・キリストがおられます」（Iヨハネ2：1）。ここでははっきりと弁護者とは、イエス様である、ということが言われています。そのようなイエス様の役割は、徹底的に私たちを弁護してくださることにある、と言います。それで、例えば一つのイメージですけれども、わたしたちは、今こうして席に座っています。けれども、そこで私たちは一人で座っているのではないということになります。眼には見えないのですけれども、わたしたちの横に弁護者としてイエス様が一緒に座っていてくださる、そのように想像してみたいのです。弁護者であるイエス様は、わたしたちがどのような状況にあっても、一緒に歩いて、一緒の立場に立って、一緒に座ってくださる方です。

みなしごではなく

そのように、いつでもイエス様が一緒にいて下さる、という状態が、別の弁護者によってもたらされる、というのが、18節の言葉です。「わたしは、あなた方をみなしごにはしておかない。あなた方の所に戻ってくる」。弁護者であるイエス様は、天に昇られるけれども、別の弁護者をすぐに送る。それに

よって、あなた方は、一人ぼっちではなくなる、むしろ、そのような弁護者がやってくるのは、私が戻ってくることと同じだ、このように言われるのです。その意味では、イエス様と聖霊なる神は、一体的に私たちの弁護者なのです。そして、このようにして別の弁護者によってイエス様を見つけだした人は、イエス様が、生きていることを根拠にして、同じように生きるようになる、このように続いています。それは、復活の命に生きることです。もちろん、わたしたちは、なお、地上の肉の命においても生きているのです。しかし、それがすべてではないのです。この地上にいながら、永遠の命に至る水が、私たちの中から湧いてくるのです。そこで、新しく、力を与えられるのです。

イエスと生きる

　そのようにして、イエス様から力をいただく生き方を言い換えたのが、21節です。「わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛する者である。わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、その人にわたし自身を現す。」。イエス様の新しい掟は、愛そのものです。そして、愛に生きるものは、神様に愛され、イエス様に愛され、日々、その人の人生の中に、イエス様が現れていく、というのです。イエス様が、私たちの中に表されます。いま、この所にいながら、あるいは、礼拝が終わって教会から帰って一週間の歩みをしていくときにも、どこにいこうとも、どんな時でも、私たちの中にイエス様が、表されていくのです。

あなたと共にいる

　これから、上福岡教会は新しく長期計画を作成する予定です。そのためにヴィジョン委員会も立ち上がりました。来週には、成人科懇談会も行われます。このような教会の営みの中で、わたしたちは、毎日の生活の中にイエス様が表されていく、イエス様と共にいる生活を一緒に造り上げていきたいのです。

　祈祷

　主イエス・キリストの父なる神様、あなたは主イエスの執り成しによって、私たちに絶えず助け主である御霊を与えてくださいますから感謝します。私たちはこの御霊において、あなたに結ばれ、主イエスに結ばれ、そして、互いに結ばれています。どうぞ私たちが、この御霊にあって、互いに仕えあい、互いを喜んで生きていくことができますように、この週の歩みにおいても、私たちのあゆみに、あなたのご栄光が映し出されますようにお願いします。主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン